

令和3年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名	千代田区立障害者就労支援施設 (ジョブ・サポート・プラザ ちよだ)	所在地	千代田区九段南1-2-1
-----	--------------------------------------	-----	--------------

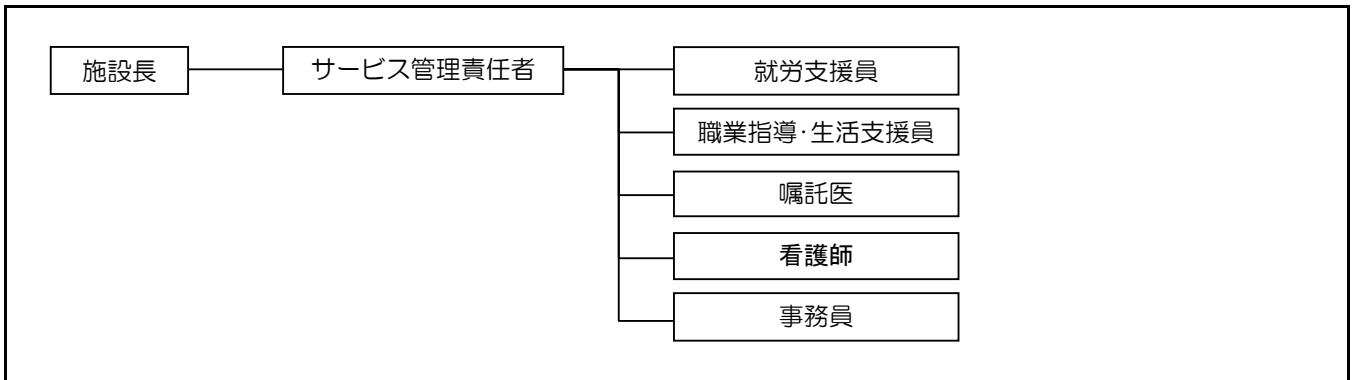
1 指定管理者の概要

名称	社会福祉法人 緑の風	代表者	理事長 武田 和久
所在地	山梨県北杜市長坂町大井ヶ森994-1		
指定期間	平成24年4月1日～令和4年3月31日	報告期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

2 管理施設の概要

施設の目的	障害者に対し生産活動その他の活動の機会を提供することで障害者の自立を促進し、もって障害者の福祉の増進を図ることを目的とする。
管理業務の内容	(1) 障害者総合支援法第5条第13項に規定する就労移行支援に関する事業 (2) 同法第5条第14項に規定する就労継続支援に関する事業 (3) 同法第5条第7項に規定する生活介護に関する事業

3 管理体制の状況



4 事業実績等

ア 利用者数(各年度未現在)

提供サービスの種類	就労移行支援	就労継続支援(B型)	生活介護
令和3年度	0人	18人	10人
令和2年度	0人	16人	10人
令和元年度	0人	16人	10人

イ 行事・余暇支援

- ・ 所外活動：宿泊旅行1回（新型コロナウイルスの影響により中止）、日帰りレクリエーション2回
- ・ クラブ活動（施設内にて密にならない軽運動を実施）

ウ 地域イベント等への参加

- ・ 千代田区文化芸術 秋のフェスティバルに出品
- ・ 千代田区理解促進事業

5-1 収支の状況

収 入		支 出	
区就労支援施設運営受託収入	29,408,000円	人件費	78,075,984円
自立支援費収入	46,750,536円	事務費・事業費支出	10,126,648円
合計(①)	76,158,536円	合計(②)	88,202,632円
収支差額(①-②)	-12,044,096円		

5-2 収支の状況

収 入		支 出	
就労支援事業収入	5,022,586円	就労支援事業支出	6,024,890円
収支差額	-1,002,304円		
工賃変動積立金取崩額	1,001,895円		

6 指定管理者による自己評価

サービス提供に関して	収支に関して
<p>指定管理者として2期目の最終年度(通算15年目)にあたり、今年度で指定期間が満了となる。“働くこと”を通して「それぞれの社会参加」「ゆるやかな社会参加」に焦点を当てた、個別の支援計画を組み立て、支援内容はできる限り構造化を行い、利用者のニーズに沿った支援事業サービスを提供した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策としては、1月に合計17人が感染、施設運営についても延べ17日間を休所したことから、空気清浄機の導入等これまで以上の感染予防対策を講じ、ならびにBCPの強化・改善を行った。</p> <p>また今年度で指定期間が満了となるため、就労支援事業(授産事業)の新規顧客の開拓などにおいては次期指定管理者と相談し進めた。</p> <p>さらに次年度からの指定管理者である社会福祉法人が円滑に運営を開始することができるよう、公式資料の移管、利用者支援や就労支援事業の業務に関する必要事項の伝達、次期指定管理者となる社会福祉法人職員を研修の形で受け入れ、OJT形式での引継ぎを行った。</p>	<p>区就労支援施設運営受託収入の内訳としては、指定管理料と第三者評価受審費用からなる。</p> <p>自立支援費収入については新型コロナウイルス感染症の影響により施設を休所することもあったが、日頃の予防対策実施などに利用者の皆様からご理解をいただき、昨年度に比べて施設利用率が上昇したことに伴い通所サービスの提供も増加したため、収入は昨年度比106%となった。</p> <p>就労事業収入は本年度も新型コロナウイルスの影響が続いており、区役所・企業から受注の口数は変わらないが数量が減ったため収入は昨年度比79%とであった。</p> <p>一方焼き菓子製造・販売は大幅な落ち込みを見せた昨年度との比較では少しずつ注文も回復し、収入も昨年度比122%となったが、外部販売は本年度も実施できないなど、コロナ以前の売上水準まで回復することはできなかった。</p>

7 区による評価・業務改善要求

<p>昨年度に引き続き、新型コロナウイルスが流行する中、個別の支援計画の作成及び構造化を取り入れた支援など従来通りの対応をすることで利用者ニーズの充足に繋がったことは評価できるが、新型コロナウイルスが流行してから約3年が経過しているため、対策等講じることで利用者個々へのアプローチに留まらず地域を巻き込んだ利用者支援の在り方を検討し展開していただきたい。</p>

8 今後の指定管理に区が期待すること

<p>令和4年度より、「千代田区障害者福祉センターえみふる」と同じ指定管理者に変更となるため、同じ法人で運営しているという強みを生かして、多様化する利用者と保護者のニーズに対応できるよう、施設がこれまで以上に協力して新たなサービスの提供が実施されることを期待したい。</p>
